

小平市地域包括ケア推進計画進捗状況の概要

1 計画について

(1) 計画の位置づけ

老人福祉法第 20 条の 8 に定める「市町村老人福祉計画」及び介護保険法第 117 条に定める「市町村介護保険事業計画」に該当する計画として一体的に策定している。

また、高齢者の保健福祉に関する施策を総合的に推進する計画であり、「小平市第三期地域保健福祉計画」の高齢者分野の個別計画として位置づけられている。

(2) 計画期間

平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 年間

(3) 施策の体系

3 つの基本目標のもと、5 つの施策の柱と、17 施策 81 事業（再掲除く）で構成している。

計画では、体系的に施策を推進する中で、施策を複合的に捉え、以下の 3 点を重点的な取組としている。

- ① 介護予防・生活支援の基盤整備
- ② 認知症施策の推進
- ③ 在宅医療・介護連携の推進

2 進捗状況

(1) 構成

地域支援事業の再編により統合又は終了した事業を除く 76 事業（再掲除く）について平成 29 年度の進捗状況を報告する。項目は、施策、事業名、事業内容、担当課、平成 29 年度実績、平成 30 年度予定を掲載している。なお、統合、終了した 5 事業については、進捗状況欄等にその旨を掲載している。

また、介護保険事業について、サービスごとの実績と対計画比増減率等を掲載している。

(2) 平成 29 年度実績

計画期間の 3 年度目として、計画に基づきおおむね順調に事業を進めた。

主な取組としては、介護予防給付から介護予防・日常生活支援総合事業へ完全な移行を行うとともに、生活支援体制整備として各地域包括支援センターへの第 2 層生活支援コーディネーターの配置、認知症施策の推進として認知症地域支援推進員の配置など地域包括ケアシステムの構築に向けた各種取組を実施した。

3 重点事業及び介護施設の整備状況

(1) 介護予防見守りボランティア事業

見守りボランティア登録をされた高齢者が、地域包括支援センターと連携しながら、地域のさりげない見守り活動を行い、この活動を通して、地域の見守り体制を強化するとともに、ボランティアとして活動する高齢者の介護予防を推進する。

■数値目標

内容	目標数値	実績
介護予防見守りボランティアの登録者数	平成 29 年度末 220 人	平成 29 年度末 332 人

目標を上回る登録があり、地域において多様な主体による見守り活動が行われた。今後も、見守りが必要とされる高齢者が見込まれるため、更なる充実を図っていく。

(2) 認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちをつくるために、養成講座の充実を図る。

■数値目標

内容	目標数値	実績
認知症サポーター養成講座の受講者数	年間平均受講者数 450 人	平成 27 年度～29 年度 平均受講者数 1,175 人

目標を大幅に上回る受講者数があり、講座の受講を通じて、認知症への理解を深めるための取組を実施した。引き続き、認知症の方を地域で支える取組を行う。

(3) 地域密着型サービス、特別養護老人ホーム等の整備

サービス名	26 年度末時点	29 年度末整備目標	29 年度末整備実績
定期巡回・随時対応型訪問介護 看護	1 か所	2～3 か所	1 か所
認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	8 か所 135 人	9 か所 153 人	9 か所 153 人
地域密着型通所介護	0 か所	34 か所	30 か所
特別養護老人ホーム	7 か所 612 人	8 か所 712 人程度	7 か所 612 人
軽費老人ホーム (介護専用型ホーム)	0 か所	1 か所	0 か所

認知症対応型共同生活介護については、整備目標に沿って 1 か所整備した。定期巡回・随時対応型訪問介護看護、特別養護老人ホームについては、整備までは至らなかったが、事業実施を希望する事業者と、整備に向けた協議を進めている。

4 報告・公表について

進捗状況については、9 月 28 日から市ホームページ、高齢者支援課窓口で公表する。